

## 第二章 単位住戸の一次エネルギー消費量

### 第五節 気候風土適応住宅

#### 1. 適用範囲

本計算方法は、建築物エネルギー消費性能基準等を定める、平成28年経済産業省・国土交通省令第1号附則第2条に基づき、所管行政庁により個別に気候風土適応住宅の認定を受けた住宅に対する一次エネルギー消費量の評価に適用する。

#### 2. 引用規格

なし

#### 3. 用語の定義

第一章の定義を適用する。

#### 4. 記号及び単位

本計算で用いる記号及び単位は表1による。

表1 記号及び単位

記号	意味	単位
$A_A$	床面積の合計	m <sup>2</sup>
$A_{MR}$	主たる居室の床面積	m <sup>2</sup>
$A_{OR}$	その他の居室の床面積	m <sup>2</sup>
$A_{env}$	外皮の部位の面積の合計	m <sup>2</sup>
$BEI$	Building Energy Index	-
$E_C$	冷房設備の設計一次エネルギー消費量	MJ/年
$E_H$	暖房設備の設計一次エネルギー消費量	MJ/年
$E_L$	照明設備の設計一次エネルギー消費量	MJ/年
$E_M$	その他の設計一次エネルギー消費量	MJ/年
$E_{SC}$	冷房設備の基準一次エネルギー消費量	MJ/年
$E_{SH}$	暖房設備の基準一次エネルギー消費量	MJ/年
$E_{SL}$	照明設備の基準一次エネルギー消費量	MJ/年
$E_{SM}$	その他の基準一次エネルギー消費量	MJ/年
$E_{ST}$	基準一次エネルギー消費量	GJ/年
$E_{ST}^*$	基準一次エネルギー消費量	MJ/年
$E_{SV}$	機械換気設備の基準一次エネルギー消費量	MJ/年

記号	意味	単位
$E_{SW}$	給湯設備(コージェネレーション設備を含む)の基準一次エネルギー消費量	MJ/年
$E_S$	エネルギー利用効率化設備による設計一次エネルギー消費量の削減量	MJ/年
$E_T$	設計一次エネルギー消費量	GJ/年
$E_T^*$	設計一次エネルギー消費量	MJ/年
$E_V$	機械換気設備の設計一次エネルギー消費量	MJ/年
$E_W$	給湯設備(コージェネレーション設備を含む)の設計一次エネルギー消費量	MJ/年

## 5. BEI(Building Energy Index)

BEI(Building Energy Index)は、第二章「単位住戸の一次エネルギー消費量」第一節「全般」により計算される値とする。ただし、設計一次エネルギー消費量 $E_T^*$ およびその他の設計一次エネルギー消費量 $E_M$ は、本節の「6. 設計一次エネルギー消費量」により計算される値とする。基準一次エネルギー消費量 $E_{ST}^*$ およびその他の基準一次エネルギー消費量 $E_{SM}$ は、本節の「7. 基準一次エネルギー消費量」により計算される値とする。

## 6. 設計一次エネルギー消費量

### 6.1 設計一次エネルギー消費量

1年当たりの設計一次エネルギー消費量 $E_T$ は、第二章「単位住戸の一次エネルギー消費量」第一節「全般」により計算される値とする。ただし、1年当たりの設計一次エネルギー消費量 $E_T^*$ は、第二章「単位住戸の一次エネルギー消費量」第二節「設計一次エネルギー消費量」により計算される値とする。

### 6.2 暖房設備の設計一次エネルギー消費量

1年当たりの暖房設備の設計一次エネルギー消費量 $E_H$ は、第二章「単位住戸の一次エネルギー消費量」第二節「設計一次エネルギー消費量」により計算される値とする。

### 6.3 冷房設備の設計一次エネルギー消費量

1年当たりの冷房設備の設計一次エネルギー消費量 $E_C$ は、第二章「単位住戸の一次エネルギー消費量」第二節「設計一次エネルギー消費量」により計算される値とする。

### 6.4 機械換気設備の設計一次エネルギー消費量

1年当たりの機械換気設備の設計一次エネルギー消費量 $E_V$ は、第二章「単位住戸の一次エネルギー消費量」第二節「設計一次エネルギー消費量」により計算される値とする。

### 6.5 照明設備の設計一次エネルギー消費量

1年当たりの照明設備の設計一次エネルギー消費量 $E_L$ は、第二章「単位住戸の一次エネルギー消費量」第二節「設計一次エネルギー消費量」により計算される値とする。

### 6.6 給湯設備及びコージェネレーション設備の設計一次エネルギー消費量

1年当たりの給湯設備(コージェネレーション設備を含む)の設計一次エネルギー消費量 $E_W$ は、第二章「単位住戸の一次エネルギー消費量」第二節「設計一次エネルギー消費量」により計算される値とする。

### 6.7 その他の設計一次エネルギー消費量

1年当たりのその他の設計一次エネルギー消費量 $E_M$ は、第二章「単位住戸の一次エネルギー消費量」第二節「設計一次エネルギー消費量」により計算される値とする。

## 6.8 エネルギー利用効率化設備による設計一次エネルギー消費量の削減量

1年当たりのその他の設計一次エネルギー消費量 $E_S$ は、第二章「単位住戸の一次エネルギー消費量」第二節「設計一次エネルギー消費量」により計算される値とする。

## 7. 基準一次エネルギー消費量

### 7.1 基準一次エネルギー消費量

1年当たりの基準一次エネルギー消費量 $E_{ST}$ は、第二章「単位住戸の一次エネルギー消費量」第一節「全般」により計算される値とする。ただし、1年当たりの基準一次エネルギー消費量 $E_{ST}^*$ は、式(1)により表される。

$$E_{ST}^* = E_{SH} + E_{SC} + E_{SV} + E_{SL} + E_{SW} + E_{SM} \quad (1)$$

ここで、

$E_{ST}^*$	: 1年当たりの基準一次エネルギー消費量(MJ/年)
$E_{SH}$	: 1年当たりの暖房設備の基準一次エネルギー消費量(MJ/年)
$E_{SC}$	: 1年当たりの冷房設備の基準一次エネルギー消費量(MJ/年)
$E_{SV}$	: 1年当たりの機械換気設備の基準一次エネルギー消費量(MJ/年)
$E_{SL}$	: 1年当たりの照明設備の基準一次エネルギー消費量(MJ/年)
$E_{SW}$	: 1年当たりの給湯設備(コージェネレーション設備を含む)の基準一次エネルギー消費量(MJ/年)
$E_{SM}$	: 1年当たりのその他の基準一次エネルギー消費量(MJ/年)

である。

### 7.2 暖房設備の基準一次エネルギー消費量

1年当たりの暖房設備の基準一次エネルギー消費量 $E_{SH}$ は、第二章「単位住戸の一次エネルギー消費量」第三節「基準一次エネルギー消費量」により計算される値とする。ただし、外皮平均熱貫流率および暖房機期平均日射熱取得率は、当該住戸の値と同じとする。

### 7.3 冷房設備の基準一次エネルギー消費量

1年当たりの冷房設備の基準一次エネルギー消費量 $E_{SC}$ は、第二章「単位住戸の一次エネルギー消費量」第三節「基準一次エネルギー消費量」により計算される値とする。ただし、外皮平均熱貫流率および冷房期の平均日射熱取得率は、当該住戸の値と同じとする。

### 7.4 機械換気設備の基準一次エネルギー消費量

1年当たりの機械換気設備の基準一次エネルギー消費量 $E_{SV}$ は、第二章「単位住戸の一次エネルギー消費量」第三節「基準一次エネルギー消費量」により計算される値とする。

### 7.5 照明設備の基準一次エネルギー消費量

1年当たりの照明設備の基準一次エネルギー消費量 $E_{SL}$ は、第二章「単位住戸の一次エネルギー消費量」第三節「基準一次エネルギー消費量」により計算される値とする。

### 7.6 給湯設備及びコージェネレーション設備の基準一次エネルギー消費量

1年当たりの給湯設備(コージェネレーション設備を含む)の基準一次エネルギー消費量 $E_{SW}$ は、第二章「単位住戸の一次エネルギー消費量」第三節「基準一次エネルギー消費量」により計算される値とする。

### 7.7 その他の基準一次エネルギー消費量

1年当たりのその他の基準一次エネルギー消費量 $E_{SM}$ は、第二章「単位住戸の一次エネルギー消費量」第三節「基準一次エネルギー消費量」により計算される値とする。